

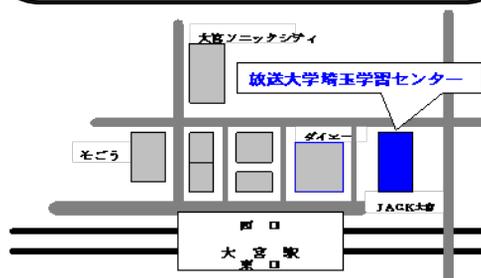


埼玉学習センターだより

さいたま

放送大学埼玉学習センター

〒330-0853
さいたま市大宮区錦町682-2
大宮情報文化センター内(受付:10階)
TEL 048-650-2611
FAX 048-650-2615
<http://www.ouj.ac.jp>



— 主な内容 —

- P1. 平成23年度第1学期入学者の集い
- P2. 菅野所長新任挨拶
- P3. 毛利所長退任挨拶・最終講義と囲む会
- P4. 佐藤先生退任挨拶・新旧事務職員挨拶
- P5. サークル紹介
(放送大学ソシアルダンスクラブ・江戸時代の古文書を読む会)
- P6. 平成22年度生涯学習奨励賞/図書室・視聴学習室からのお知らせ
- P7. 教務係からのお知らせ
- P8. 各種お知らせ



入学おめでとうございます

平成23年度第1学期入学者の集い・ サークル紹介・履修相談会

平成23年度第1学期入学者の集いが、4月3日(日)に埼玉学習センターの8階講堂において実施されました。

埼玉学習センター所属の入学者約1,300名のうち218名が出席し、菅野所長の挨拶、履修方法、学習センターの概要説明などに熱心に耳を傾けていました。今回は、開催案内のDMが功を奏し、多数の入学者が出席しました。

引き続き、9階講義室ではサークル紹介・履修相談会があり、それぞれのサークルが工夫を凝らして展示した会場では、ユーモアと情熱溢れる勧誘合戦が展開されていました!

また、履修相談会では、生涯学習奨励賞受賞者に協力を依頼し、センター教職員と共に相談に対応しました。



菅野所長挨拶



サークル紹介

新任挨拶



菅野峰明



4月1日に埼玉学習センター所長に就任しました菅野峰明です。昨年3月まで埼玉大学教養学部で地理学を教えていました。また、一時期は埼玉大学の副学長も務めていました。この仕事に就く前に放送大学の内容をよく理解してから仕事を始めようと思っていたところ、3月11日に東日本大震災が起きました。私は、この大震災で市街地が壊滅したと報じられた岩手県陸前高田市の出身で、私の育った家も市内にあります。ところが、津波の襲った11日からしばらくの間、固定電話はもちろんのこと携帯電話も不通でして、現地とは連絡が取れない状態が続きました。震災直後のテレビの映像や新聞の写真は、鉄筋コンクリート造りの建物以外はすべて流され、ここに街があったのかと疑いたくなるような陸前高田市の様子を示していました。大きな被害になると実感し始めた頃に、実家の兄から衛星電話で連絡が来て、家の被害はないけれども甥が行方不明になっていると知らされました。まさか市街地で働いていた甥が津波に流されるとは思っていませんでした。陸前高田市の市街地から離れた市内の矢作町生出地区が私の育った場所です。

陸前高田市で中学時代までを過ごし、それまでのんびりと田舎の学校で育ってきたのですが、岩手県南部の一関第一高校に進学しました。実はここで、私の現在の専門分野である地理学を勉強しようという気持ちが強くなりました。中学時代から世界各地の様々な出来事や事象に関心がありましたが、高校時代に地理を教えていた先生は、県内各地の地理的事象、例えば、大船渡湾のトンボロ（陸繋島）、一関市巖美溪のポットホール（甌穴）、北上山地の石灰岩地帯、胆沢扇状地などを挙げてそれらの形成過程を説明してくれました。土地の特性と状態を説明する面白さに惹かれ、大学で地理学を学ぼうと決めました。ただ、当時は研究者になることは考えていませんでした。

地方の高校から東京教育大学（現 筑波大学）に進学した時に感じたのは、大学は優秀な学生の集まりということでした。高校生の頃は教科書と参考書ぐらいしか読むことのなかった私にとって、岩波文庫や岩波新書を読んでその内容と感想をよどみなく話す、周りの学生は驚きでした。そのような幅広い学習スタイルを学ぶ一方で、アルバイトをして得た資金を基にして日本国内の旅行をしていました。未知の土地に行き行って知らないことを知る喜びを感じていました。大学在学中に、当時はまだアメリカの施政権下にあった沖縄を除く46都道府県すべてに足を踏み入れ、日本は地域にかなり違いがあると認識するようになりました。

もっと勉強しようと大学院に進みましたが、ちょうど日本の大学は学園紛争で勉強どころではありませんでした。そこで、フルブライト奨学生となり、アメリカのジョージア大学大学院に留学しました。ところが、ジョージア大大学院では日本の大学受験の勉強以上のハードワークが待ち受けていました。アメリカ人と同じ課題と試験をこなすために週末を除いて大学の研究室で毎日遅くまで勉強していました。多くのリーディングと課題の提出を重ねていくうちに、日本の研究者はまだアメリカの南部のことを知らないと感じ、アメリカの南部の研究を自分で行って、その結果を発表していくことの必要性を感じました。その当時、アメリカ南部について日本語で書かれたものはごくわずかで、南部における人種差別と黒人運動の報告、映画『風と共に去りぬ』の舞台としての南部の綿花畑とプランテーションの紹介などが主なものでした。大学院の1年目に、南部の地誌研究が専門のプランティ教授は授業の一部として週末になると、院生をバンに乗せて南部のプランテーション跡地や綿花畑そしてツリープランテーションへのエクスカージョンに連れて行って、綿花プランテーションと綿花畑の変貌、さらに南部の農村の変容を説明してくれました。このエクスカージョンで見聞したことは、私が本から得た知識以上のものであり、フィールドでの観察とデータに基づいて地域を説明するという地理学を再発見しました。そこで、ジョージア州アトランタの土地利用そしてジョージア州における都市境界の形態研究をし、さらにアメリカの都市圏と物資流動の関係を分析しました。これが、私のアメリカ地誌研究の始まりです。

3.11東日本大震災の渦中であって、容赦なく時は刻み、退任の日はあつという間に通り過ぎました。被災者の皆様方へ心からお見舞い申し上げます。

埼玉学習センターに着任してこの5年間、これほどまでに時の流れの速さを意識したことはありませんでした。センターでお会いする学生諸姉諸兄の多くは当に人生の先輩で、センターのあり様に示唆を与え、小生の行く道々を照らし、共に学び、共に語る場を共に築き上げてくださった。豊饒として学びの姿勢を示してくれた95歳のK氏、放送大学同窓会のあり様を得々として語ってくれたH氏、CSC交流会の立役者となってくれたT氏らと、多様な分野の英知の集まりである同窓会やサークルの方々との高い見識に支えられて、生涯学習の意義についてゆっくりと学ばせていただいた。

“人との出会い”これほど生涯学習で貴重なものがないことを改めて学び、そして実感したものです。最終講義で紹介しましたように、古典を紐解けば時間を超越してよき指導者にも会うことが出来ます。小生にとっては、ノーベル化学賞受賞者L. Paulingの書は研究の出発時に多大な指針を与えてくれました。さらに、ノーベル物理学者P. W. Bridgmanの言葉は40年にもわたって続けている研究のバックボーンとなっています。知の継続と蓄積こそが学問であり、その知の上に新しい知を創造していくことが学徒としての責務であります。

其れにつけても今回の震災は残念でなりません。知の蓄積とその伝承が十分ではなかったと思わざるを得ません。未だに行方不明となっている姪の勤め先である岩手県立高田高校の3階建ての校舎は、すべての窓から津波で流し込まれた瓦礫で無残な姿になっていました。耐震工事の頑強な鉄骨が守ったものは何であったのだろうか。福島原発の行方も憂えるばかりです。先端技術を支える技術とそれを動かす組織もそれに見合うものであってほしいものです。縦割り行政の弊害がいたるところで噴出し、より被害を大きくしたように見受けられます。

一個人の能力には限界があります。一人一人が持つ多様な能力を総合的な見地から発揮できる新しい組織を“一人一人が意識して”構築したいものです。生涯学習を謳う放送大学こそ率先してその範を示し、全国に輝き渡る卒業生の才知が花開くことを期待してやみません。都道府県すべてに配置された学習センターはその恰好な活動拠点であってほしい。震災ばかりではない、押し寄せる未曾有のグローバル化の波にアイデンティティを失わないために。

毛利所長の最終講義と囲む会

毛利所長の最終講義「私の履歴書～学びと研究～」参加者129名
 囲む会 参加者117名



毛利所長 5年間
 ありがとうございました



退任挨拶

佐藤 一彦



昨年9月より本年3月で約半年間客員教授を努めさせて頂きました。毛利前所長をはじめ多くの方々に面接授業・セミナーの実施に関し、多くのご支援を賜りましたことをここに深く御礼申し上げます。さて、面接授業では「身近な電気・磁気の科学」と題する物理学の実験を担当しました。着任時の挨拶にも書かせて頂きましたが、面接授業を行って放送大学の学生さんたちの熱意に深い感銘を受けました。日頃本務の大学で日常的に接する学生と比較した場合、なぜ彼らは十分に恵まれた環境にあるにもかかわらず熱意が足りないのか、またはなぜ我々大学教員が熱意を引き出すことが出来ないのかと色々考えさせられました。私自身納得する答えを未だ出せておりませんが、なんとか試行錯誤を続けていきたいと思っております。セミナーの方は2週間に1回ずつ程度Fundamental of Physics (Halliday & Resnick, JohnWiley & Sons, Inc.)という米国の標準的な物理学の教科書を用い、輪講形式で行いました。たださえ敬遠されそうな物理学をしかも英語で学ぶという企画に果たして参加してくれる学生がいるだろうかと開始前は危惧をしておりましたが、人数は決して多くはないものの熱心な学生さん達の参加を得ましてこちらも楽しい日々を過ごさせてもらえました。そもそも英語で物理学を学ぶ意図はサイエンスの世界で用いられる英語が「簡単」だからと言う理由です。サイエンスの文章は論旨が明確であることが要求されます。そのため構文自体は平易なものが多く、いくつかの専門用語に慣れさえすれば中学程度の文法で十分に読み込みが可能です。とは言いましても、物理の教科書は取っつきにくいと感じられる方が多いことは否定できませんし、どこまで意図が達成できたと言いますとなかなか難しいと言わざるを得ませんでした。今年度から本務の仕事が忙しくなりまた体調が思わしくないこともあり三月一杯で客員教授を辞任致しました。短い間ですが、他の大学では味わえない多くのことを私自身学ばせて頂きましたことを感謝致します。放送大学埼玉学習センターが今後とも益々発展されることを祈念しております。

新旧事務職員挨拶

4月より事務職員が交代いたしました。

退職 菊地 秋良・齋藤 裕恵

新任 内田 秋男・安藤 君枝

藤井 明子 (図書係員)



内田 秋男(教務担当)
4月から教務係に配属された、
だいぶ古びた新人です。
気持ちだけは若い(?)つもりで
います。よろしくお願いします。



安藤 君枝(教務担当)
4月より埼玉学習センターで勤務しております
安藤君枝と申します。
一日も早く今の仕事に慣れ、皆様
のお役に立ちたいと思っております。
どうぞよろしくお願いいたします。



菊地 秋良(教務担当)
埼玉学習センターに4年間お世話に
なり3月で退職しました。大変お世話になり
ありがとうございました。

窓口や電話などでは説明やアドバイスが適切に出来なくてご迷惑をおかけしました。センターだけの紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

学生の皆さんは生涯学習として好きな科目だけを勉強している方や資格取得の方など様々な目的の基に勉強されている元気を姿をいつも見るに付け自分にも元気をもらいました。また、学生研修旅行や埼玉フェスタなど色々な場で交流ができ、学生とも親しく又楽しいいい雰囲気の中かで働くことができたことに感謝しております。

これからは少しのんびり時期がきたら学生になってみたいと考えています。

埼玉学習センターの今後益々の発展を心より願っております。



藤井 明子(図書室担当)
4月から図書室で勤務しております。
図書室は窓からの眺めがよく気持ちよく仕事
をしています。どうぞお気軽に声をかけてください。

◆ サークル紹介 ◆

放送大学ソーシャルダンスクラブ

－クラブ紹介－

当クラブはダンスの技術向上、会員相互の親睦、学内クラブ活動の推進等を目的に活動しています。現在会員は、約30名で楽しく練習に励んでいます。新入会の初心者でもプロの先生が楽しく踊れるように、懇切丁寧に指導を行なっています。定例の練習は毎週土曜日午前10時～12時、主に埼玉学習センター8階講堂で行っています。練習日と会場は8階ロビーのホワイトボードでお知らせしています。事前の科目登録の上、所定の時間数

(30時間)の履修承認を得て、共通科目の1単位取得可能です。主なイベントは、新入生歓迎パーティ、クリスマスパーティ、日帰りの親睦旅行等を行なっています。お気軽に、練習の様子を見に来て下さい。

代表者及び連絡先： 長岡 精二 TEL 048-873-4425



江戸時代の古文書を読む会

－創立15周年に寄せて－

篠田 安彦

サークルの特色として研修旅行があります。創立15周年の時が経ち、研修旅行の目的・特色は、物見遊山と異なり、全国の郷土史料館及び県、市、博物館等を訪問し、当該学芸員による江戸時代の古文書の記述、内容、字体意味を説明していただき、それらを学ぶことです。それぞれの先達者(学芸員)の承諾を得て、江戸時代の古文書原典を読み下し、また原典を接写し会に持ち帰り、毎年夏季に行われる一般公開講演会「埼玉学習センター主催・江戸時代の古文書を読む会共催」担当の共立女子大学文芸学部堀新教授にその原典古文書の翻刻をしていただき、そして当時の文化に対しての斬新な切り込みと鑑賞のご指導を拝受し、会の教材として使用しております。

一昨年3月27日(金)～28日(土)研修旅行を岩手県一ノ関市(巖美渓溪谷)、平泉中尊寺(一部破損報道)に行きました時、巖美渓は2008年6月宮城内陸地震を蒙り、地形、溪流の壊された跡地が目には焼きついています。2011年3月11日、東日本大震災現況を電話で問い合わせをしたところ、一ノ関市では詳細は現地でも把握が無理という回答がありました。私たちは、もう一度現地に慈眼を持つ事は杞憂で終わるのでしょうか。

そして、平泉中尊寺本堂参道途中左手に、古刹の阿弥陀堂があり風、雨、雪に晒された奉納木版1845年弘化2月(千葉姓)、1859年安政9月(小野寺姓)の和算の古文書絵図を見出しました。江戸時代後期東北岩手は和算のさかんなお国柄と一ノ関博物館にて認識させられました。研修旅行に参加する事はいろいろな“学び”を体験します。そこで研修旅行時の古文書の和算問題に挑戦して下さい。

問題

雉子兎取合五拾疋有 足数百弍拾弍本也

雉子足弍本兎四本 銘々幾何問。

回答：篠田まで

最後に東日本大震災で被害に遭われた全てのみなさまにこころからお見舞い申し上げます。





平成22年度生涯学習奨励賞

埼玉学習センターでは、センターにおいて定めた複数の専攻を卒業・修了された方に対し表彰する制度（生涯学習奨励賞）を設けております。

平成22年度第2学期卒業・修了生からは以下のたくさんの方々が表彰されました。（今回も昨年度2学期に引き続き、全専攻制覇された方が1名おりました。この制度が開始されてから計3名の方が全専攻制覇しております。）

皆様、誠におめでとうございます。
なお、歴代受賞者を図書室入口に掲載しました。

全専攻卒業生（金剛賞）1名
大谷木 勇 様

4専攻卒業生（銀賞） 5名
江川 康範 様 大内 和彦様
大野 孝弘 様 前園 暎子様
森川 玲子 様

3専攻卒業生（銅賞） 6名
及川 峰子 様 奥田 征雄 様
金井 政光 様 佐藤 辰子 様
福田 暉 様 横川 淑子 様



のんびり、マイペースで
大八木 勇



放送大学開学と同時に入学し、そして第一回卒業生の一人となった。そして今回、最後の六番目の専攻を卒業することができた。長かったというよりも、よくものんびりやってきたなというのが、正直な感想である。

今回卒業した「生活と福祉」専攻に至っては、途中で他の専攻を卒業しているとはいえ、最後の2単位を取るために十年もかけているのである。実をいえば今回も卒業を延ばそうかとも考えた程である。

この四月以降も、選科履修生として勉強を続けることにした。これまで同様に、のんびり、マイペースで放送大学をやってゆくつもりである。これからは、卒業を気にする必要が無いのだから。

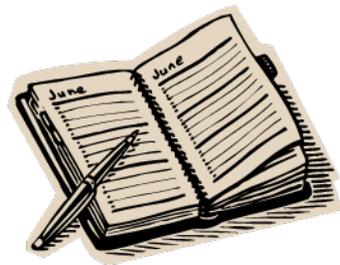


図書室・視聴学習室 からのお知らせ

- ◎ 図書室・視聴学習室ご利用の際には、必ず学生証の提示をお願いいたします。
- ◎ 入室の際、学習に必要なもの以外は持ち込まないでください。鞆や飲食物の持ち込みは禁止です。どうしても必要な場合には、カウンターでビニールの手提げ袋を貸出しています。係員に声をかけてください。
- ◎ 貸出図書のリターン期限を必ず守ってください。更新を希望される場合、やむを得ず返却日に間に合わない場合などは、早めにご連絡をおねがいたします。
手続きがない場合、次回の貸出が一定期間出来なくなることもありますので、ご注意ください。
- ◎ 7月22日（金）から単位認定試験が始まります。下記の期間は貸出停止期間となりますのでご注意ください。
 - ★ 7月 8日（金）～7月31日（日）まで 〈図書資料〉
 - ★ 7月 15日（金）～7月31日（日）まで 〈放送教材〉
- ◎ テレビ科目DVD貸出について
平成22年度2学期より、2008年度以降開講されたテレビ科目に限り、DVD貸出が開始されました。なお、2007年度以前に開講されたテレビ科目は今まで同様ビデオテープのみとなります。
- ◎ 放送教材・図書資料等の時間外返却用に、10F東側出入口にブックポストを設置していますのでご利用ください。利用時間は、学習センターの終了時間から翌日開室時間までの間です。（なお、放送教材返却の際は必ず「学習センター利用の手引き」を添付してください。）



教務係からの お知らせ



平成23年度第1学期単位認定試験について

大学院の試験

平成23年7月22日(金)・23日(土)

学部試験

平成23年7月24日(日)～31日(日) 【7月25日(月)及び7月29日(金)を除く】

本部から直接送付される受験票で、科目・日時・試験室等を確認し、同封の「単位認定試験受験に際しての注意事項」をよく読んでから受験してください。

なお、平成23年度第1学期に登録した科目と再試験科目が同一試験日・時限となる場合は、いずれか1科目を選択して受験することとなりますので、ご注意ください。

平成23年度第2学期科目登録について

○平成23年度第2学期の科目登録について

科目登録申請期間は、

①システムWAKABAでWeb登録の場合

平成23年8月10日(水)～9月1日(木)18:00まで

②郵送の場合

平成23年8月10日(水)～8月31日(水)大学本部必着です。

登録はWebか郵送のどちらか一つになります。なお、Web登録に限り、期間中の科目の追加・削除が可能です。郵送の場合は、提出後の変更は一切できませんのでご注意ください。



郵送(第四種郵便)による放送教材の貸出について

埼玉学習センターでは、平成23年度第1学期より郵送による放送教材の貸出しを開始いたしました。ご希望の方は、下記の要領に従い、手続き願います。

対象者 : 埼玉学習センター所属の学生

(休学中及び貸出放送教材・図書の返却が遅れている方は利用できません。)

貸出範囲 : 履修している科目・再試験科目(ただし、閉講科目は除きます。)

(試験期間終了後から学期末までは、全ての科目の貸出しができます。)

貸出本数 : 2本まで

貸出期間 : センター発送日からセンター到着日含めて9日間

送料 : 往復分とも申込者(学生)の負担となります。

申込方法 : 「郵送(第四種郵便)による放送教材貸出申込書」に必要事項を記入し「学生証の写し」を貼付のうえ、送付分の切手を同封し、埼玉学習センターへ送付してください。

共修生制度について

埼玉学習センターでは、生涯学習機関として広く社会人等に大学教育の機会を提供するという放送大学の役割を踏まえ、面接授業について「共修生」を受け入れています。大学教育を体験したい方や放送大学を生涯学習の場として活用したい方又は本学の学生で当該授業の科目登録を行っていないが、単位修得を目的とせず、知識・教養を深めるために受講を希望する方を対象としています。

受入科目 : 正規の科目登録受付の結果、空席がある科目のみの募集となります。

募集期間 : 基本的に当該学期の初めから当該面接授業の最初の日の前日までです。

受講申込 : 受講を希望する方は、「共修生受講申込書」を窓口に提出してください。

(なお、申込書はホームページからダウンロードすることもできますのでご利用ください。)

受講料 : 本学学生ではない一般の方・学生の方ともに、1科目につき5,500円です。

注意事項 : 共修生として面接授業を聴講した場合、本学の単位は修得できません。

テレビ科目のインターネット配信について

放送大学では、学生の皆様へのサービス向上を目指し、テレビ授業科目のインターネット配信実験として、現在計71科目の配信を実施いたしています。また、一般視聴者の方にも平成22年10月1日より授業科目の一部(テレビ授業科目4科目、ラジオ授業科目8科目、特別講義5番組)を「オープンコースウェア(OCW)」としてもインターネットで公開しています。

学生募集

教養学部

- 全科履修生
 - 選科履修生
 - 科目履修生
- ## 大学院
- 修士選科生
 - 修士科目生

大学院

- 修士全科生

●平成23年度第2学期放送大学学生募集

平成23年度第2学期教養学部「全科履修生」「選科履修生」「科目履修生」及び大学院文化科学研究科「修士選科生」「修士科目生」の学生募集を下記の日程で行います。皆さんの友人・知人にも放送大学の素晴らしさ、学ぶことの楽しさを伝え、一緒に学友になりませんか!

出願方法は、①インターネット出願、または②郵送出願(本部)のいずれか一つの方法でお願いします。

出願期間

平成23年6月1日(水)～平成23年8月31日(水) 必着

※インターネット出願は平成23年8月31日(水)24時で受付終了となりますのでご注意ください。また、全科履修生の証明書類等は8月31日必着です。

●平成24年度修士全科生募集

平成24年度「修士全科生」の学生募集も開始されます。

出願期間

平成23年8月19日(金)～平成23年9月2日(金)

募集要項の配布は6月17日からです。

※詳細は事務室にお問合せください。

～知人・友人等をご紹介ください～

知人・友人等と一緒に埼玉学習センターで学びませんか?知人・友人等の入学者の紹介を募集しています。紹介された方が埼玉学習センター所属で入学された場合には、薄謝進呈いたします。詳しくは10階窓口まで。

オープンキャンパス

埼玉学習センターでは、下記の日程にて大学説明会を開催いたします。知人・友人の方等周りに放送大学に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非ご案内をお願いいたします。申込はセンターに電話でお願いします。(048-650-2611)
なお、当日直接のお越しの方も歓迎いたします。

| | | | |
|-----|-------|------------|-----------------------|
| 第1回 | 平成23年 | 6月 25日 (土) | } いずれも 14:00～16:00 |
| 第2回 | | 7月 17日 (日) | |
| 第3回 | | 8月 13日 (土) | |
| 第4回 | | 8月 21日 (日) | |

内容◆放送大学概要説明◆卒業生体験談◆センター見学◆面接授業見学◆個別相談

秩父校移転のお知らせ

放送大学埼玉学習センター秩父校が移転いたしました。

●移転先

秩父市芸術文化会館1F
(秩父市大宮794-6 道の駅ちちぶ裏)

●利用時間 9時～17時

●休館日 年末年始(通常12/29～翌1/3)

●お問合せ 秩父市生涯学習課 0494-23-2294

現在秩父校は、震災の影響により、市役所本庁舎の一部として使用するため閉室しておりますが、放送教材の貸出はしておりますのでご利用ください。



各

種

お

知

ら

せ